

|                    |                                                                                                           |          |        |            |              |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|------------|--------------|
| 授業科目名              | 専門演習Ⅰa                                                                                                    |          |        | 科目コード      | G3503P05     |
| 英文名                | Major SeminarⅠa                                                                                           |          |        |            |              |
| 科目区分               | 環境デザイン専攻科目 - 総合                                                                                           |          |        |            |              |
| 職名                 | 教授                                                                                                        | 担当教員名    | 高橋 ゆかり |            |              |
| 学部                 | 現代社会学部                                                                                                    | 学科       | 現代社会学科 |            |              |
| 曜日                 | 月曜日                                                                                                       | 時限       | 3限目    |            |              |
| 開講時期               | 3年前期                                                                                                      | 授業の方法    | 演習     |            |              |
| 必修・選択              | 専攻必修                                                                                                      | 単位数      | 2単位    |            |              |
| 授業の概要              | 身近な水環境や化学物質と環境とのかかわりに対する理解を深める。また、身近な環境に関する客観的なデータを得て、そこからどのようなことがいえるか考察し、説明をすることを学ぶ。さらに、文献講読によっても理解を深める。 |          |        |            |              |
| キーワード              | リスク                                                                                                       | 水環境      | 室内環境   |            |              |
| 到達目標               | 環境に関するさまざまなことに興味をもち、自発的に学ぶことができる。                                                                         |          |        |            |              |
|                    | フィールドで試料採取や測定をし、結果をまとめることができる。                                                                            |          |        |            |              |
|                    | 文献や実習などを通して自分で調べたことをわかりやすく発表できる。                                                                          |          |        |            |              |
|                    |                                                                                                           |          |        |            |              |
|                    |                                                                                                           |          |        |            |              |
| ディプロマポリシー          | 3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）                                                                                   |          |        |            |              |
| カリキュラムポリシー         | 環境デザインに関する専門性の向上                                                                                          |          |        |            |              |
| キー・コンピテンシー（重視する能力） |                                                                                                           |          |        |            |              |
| コミュニケーション力         | 協働力                                                                                                       | 課題解決力    | 人間理解力  | 教育支援力      |              |
| ○                  | ○                                                                                                         |          |        |            |              |
| 教授方法（授業方法）         |                                                                                                           |          |        |            |              |
| 知識教授型              | 対話型授業                                                                                                     | 演習・反復型授業 | グループ演習 | 地域フィールドワーク | 授業外学修指導・自主活動 |
|                    | ○                                                                                                         |          | ○      |            |              |

## 授業計画

| 回数  | 授業内容 詳細                                  | 標準時間 |
|-----|------------------------------------------|------|
| 第1回 | 授業の進め方および授業への取り組み方。                      |      |
|     | 【予習】特に定めない                               |      |
|     | 【復習】                                     |      |
| 第2回 | 環境を学ぶ者にとっての倫理                            |      |
|     | 【予習】あらかじめ配布された資料を読み、要点や自分の意見をまとめておく。     | 30分  |
|     | 【復習】授業で学んだことをノートに記録しておく。                 | 30分  |
| 第3回 | 環境を学ぶ者にとっての倫理                            |      |
|     | 【予習】あらかじめ配布された資料を読み、要点や自分の意見をまとめておく。     | 30分  |
|     | 【復習】授業で学んだことをノートに記録しておく。また、次週までの課題に取り組む。 | 30分  |
| 第4回 | SDG s について知識と理解を深める。                     |      |
|     | 【予習】あらかじめ配布された資料を読み、要点や自分の意見をまとめておく。     | 30分  |
|     | 【復習】授業で学んだことをノートに記録しておく。                 | 30分  |
| 第5回 | フィールドでの実習（1回目）、試料採取                      |      |
|     | 【予習】事前に配布された資料をよく読んで予習しておく。              | 30分  |
|     | 【復習】実習によって得られた結果をまとめる。                   | 30分  |
| 第6回 | フィールドでの実習（1回目）のまとめ                       |      |
|     | 【予習】実習で得られた結果をまとめておく                     | 30分  |
|     | 【復習】実習によって得られた結果をまとめる。                   | 30分  |
| 第7回 | フィールドでの実習（2回目）                           |      |
|     | 【予習】事前に配布された資料をよく読んで予習しておく。              | 30分  |
|     | 【復習】実習によって得られた結果をレポートにまとめる。              | 30分  |
| 第8回 | フィールドでの実習（2回目）のまとめ                       |      |
|     | 【予習】実習で得られた結果をまとめておく                     | 30分  |
|     | 【復習】実習によって得られた結果をまとめる。                   | 30分  |
| 第9回 | 試料中の成分の分析                                |      |
|     | 【予習】分析方法を予習しておく                          |      |
|     | 【復習】                                     |      |

|      |                                                              |     |
|------|--------------------------------------------------------------|-----|
| 第10回 | 試料中の成分の分析                                                    |     |
|      | 【予習】                                                         | 60分 |
|      | 【復習】得られた結果をレポートにまとめる                                         | 30分 |
| 第11回 | 課題研究<br>それぞれが自分の興味あるテーマを設定し、文献調査をする。                         |     |
|      | 【予習】あらかじめ文献を調べておく。                                           | 60分 |
|      | 【復習】授業中に疑問に感じた点などについて、自分で調べてまとめておく。                          | 30分 |
| 第12回 | 課題研究<br>それぞれが自分の興味あるテーマについてさらに詳しく調べたものを発表する。また、発表内容について討論する。 |     |
|      | 【予習】あらかじめ文献を調べておく。                                           | 60分 |
|      | 【復習】授業中に疑問に感じた点などについて、自分で調べてまとめておく。                          | 30分 |
| 第13回 | 課題研究<br>それぞれが自分の興味あるテーマについてさらに詳しく調べる。必要に応じて調査を実施する。          |     |
|      | 【予習】調査に必要な準備を行う。                                             | 60分 |
|      | 【復習】調査結果をまとめる。                                               | 30分 |
| 第14回 | 課題研究<br>それぞれが自分の興味あるテーマについてさらに詳しく調べる。必要に応じて調査を実施する。          |     |
|      | 【予習】調査に必要な準備を行う。                                             | 60分 |
|      | 【復習】調査結果をまとめる。                                               | 30分 |
| 第15回 | 調べたことの発表<br>研究テーマについてこれまで得られた情報を整理し、発表する。                    |     |
|      | 【予習】発表の準備（発表内容、資料）をしておく。                                     | 60分 |
|      | 【復習】これまでの調査で分かったことを整理し、レポートにまとめる。                            | 30分 |
| 第16回 |                                                              |     |
|      | 【予習】                                                         |     |
|      | 【復習】                                                         |     |

|                |                                                                                                        |                |                                             |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------|
| 評価方法           | レポートなどの課題（50％）、授業への積極的な取り組み姿勢（50％）<br>到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。<br>【ディプロマポリシー配分比率】専門性：80％、社会性20％ |                |                                             |
| 使用資料<br>＜テキスト＞ | 必要に応じて授業中に配布する                                                                                         | 使用資料<br>＜参考図書＞ | 金原粲監修「環境科学 改訂版（専門基礎<br>ライブラリー）」（実教出版、2014年） |
| 授業外学修等         | 授業中、自分で調べたことについて発表する時間を設けるので、十分に準備してから授業に臨むこと                                                          |                |                                             |
| 授業外質問方法        | 授業終了後、オフィスアワーおよびEメール                                                                                   |                |                                             |
| オフィス・アワー       | 月曜日4限、440研究室                                                                                           |                |                                             |